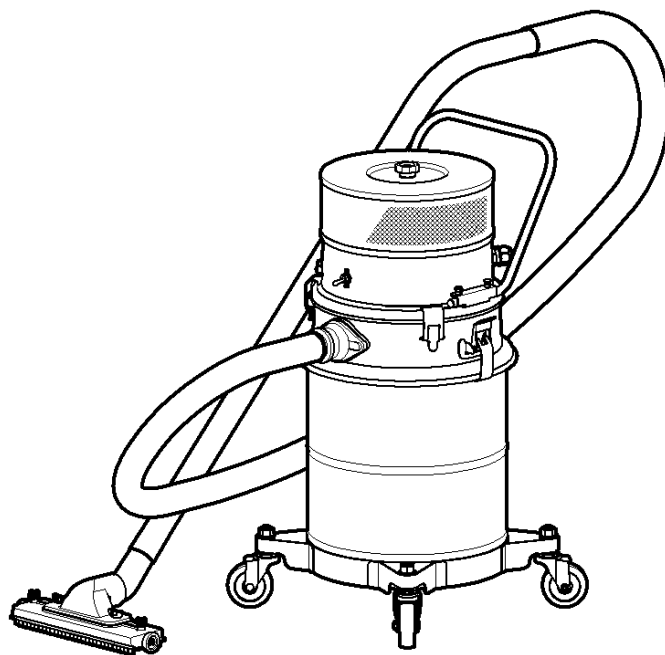


Suiden

クリーンルーム用掃除機 SCV 110DP

取扱説明書

吸引対象物	
一般ゴミ	
微粉じん	
水	×
油類	×



もくじ

1	安全のために必ずお守りください.....	1
2	仕様と付属品.....	3
3	各部の名称.....	4
4	ご使用方法.....	5
	1.ホースの接続と外し方.....	5
	2.ノズルの接続.....	5
	3.電源コードの接続.....	5
	4.スイッチ.....	5
	5.ちりおとし装置.....	5
	6.ゴミを捨てる(タンクの取外し方法)...	6
5	お手入れ.....	6
	1.フィルターのメンテナンス.....	6
	2.お手入れ.....	7
6	安全のための点検のお願い.....	8
7	こんなときは(故障かな?と思ったら).....	9
8	アフターサービスと保証について.....	11

本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。
必要ときに誰でもが読めるところへ、必ず保管してください。

世界のブランド **Suiden** スイデン 製品をお買上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用前に、この説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してご活用ください。ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、必ず本説明書をお読みください。

本機は防爆構造ではありません

1 安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この『安全のために必ずお守りください』をよく読み内容を理解してから正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の度合いを明らかにするために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、△警告・△注意の2つに区分しています。




しかし、△注意の欄に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。



△警告 : 取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

△注意 : 取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、物的損害が発生する可能性があります。










注記 : 警告・注意以外の情報を示します。

絵表示の例		記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描かれているものもあります。(左図は感電注意)
		○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止事項が描かれているものもあります。(左図は分解禁止)
		記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描かれているものもあります。(左図はアースを接地する)

搬入・移動上の注意事項

△ 注意	
 搬入・移動に際しては、重心・重量を考慮して作業する。 * 落下・破損などによりケガの原因になります。	 人手により運搬や持ち上げる際は、腰だけがかがめず膝も曲げて持ち上げるようにする。 * 腰を痛める原因になります。

試運転・運転の際の注意事項

△ 警告	
 定格 15A以上のコンセントを単独で使用する。 * 他の器具とコンセントを併用したり、電源回路の許容電流が合わない、分岐コンセント部が異常発熱・発火することがあります。	 アースを確実に取付け、漏電ブレーカー(別売市販品)を使用する。 * 故障や漏電、静電気が発生したときに感電する恐れがあります。
 濡れた手で、電源プラグやスイッチ、配線などの電気まわりに触らない。 * 感電やケガの恐れがあります。	 本機に水や油をかけたり、雨水のかかる場所で使用しない。 * ショートや感電、火災の原因になります。
 灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などや、その他引火性のもの、爆発の恐れのあるものを吸引したり、それらの近くで使用しない。 * 爆発したり、火災の原因になります。	 アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・化学物質などの爆発性粉じん、ガス・蒸気などを吸引したり、それらの近くや雰囲気内で使用しない。 * 爆発したり、火災の原因になります。
 液体は吸引しない。 * 本機は粉じん専用です。液体を吸引すると絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。	 鋭利なものを吸引しない。 * フィルターを破損し、モータ焼損による火災の原因になります。
 ダイオキシン類などの有害物質やアスベスト(石綿)類を含んだ粉じんなど、人体に有害なものを吸引しない。 * 環境汚染・健康障害につながる危険性があります。	

⚠ 注 意

<p> 動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、販売店に必ず点検修理を依頼する。 * 感電・漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。</p>	<p>  交流 100V以外で使用しない。 * 感電やショートして発火することがあります。</p> <p> 延長コードは、適切なものを選んで使用する。 * 延長コードが容量不足な場合、発熱して火災の危険があります。</p>
<p> 電源コード先端のアースクリップでアースする。特に、床に水気のある所では必ずアースする。 * アースしないと、感電の危険があります。</p>	<p> パイプやホースに吸引物などが詰まって吸引が止まったときは、すぐにスイッチを切る。 * モータの温度上昇により事故が発生する可能性があります。</p>
<p> 運転中に吸込み口や吸気口・排気口をふさがない。 * モータの温度上昇により事故が発生する可能性があります。</p>	<p> フィルターを取外した状態で吸引を絶対にしない。 * クリーンルーム内の汚染事故の原因になります。</p>
<p> 屋外の雨水のかかる場所で使用しない。 * 絶縁劣化による感電・漏電・火災・故障の原因になります。</p>	<p> 浮遊粉じんの多い雰囲気で使用しない。 * 吸気側からモータ内部に浮遊粉じんが入り込み、モータ焼損による火災の原因になります。</p>
<p> 塩素系切削油がミストや油煙化した雰囲気内で使用しない。 * 樹脂部品に付着すると化学変化が起きて樹脂が割れる恐れがあり、割れた部品などでケガをしたり、部品破損により思わぬ事故が起きる危険があります。</p>	<p> 温度の高い(40 を越える)場所で使用しない。 * 火災の原因になります。 使用雰囲気温度範囲は 0 ~ 40 です。</p> <p> 湿度の高い場所で使用しない。 * 感電・火災・故障の原因になります。 雰囲気湿度 80%以下でご使用ください。</p>
<p> シンナーなどの溶剤、揮発性・爆発性ガス・粉じん、火のついたたばこの吸いながら、熱を持った物質などは吸引しない。 * 爆発・火災、フィルター焼損の原因になります。</p>	<p> セメント粉、合成樹脂粉など固化するものや、金属粉、カーボン粉など導電性の微粉じん、薬品などを吸引しない。 * 感電やショートして発火することがあります。</p>
<p> 腐食性のあるものは吸引しない。 * モータ焼損や故障、事故の原因になります。</p> <p style="text-align: center;"> 腐食性</p>	<p> クリーナーは、電源コードやホースを引っ張って移動しない。 * 電源コードやホースが破損し、火災・感電・汚染事故の原因になります。</p>
<p> 横倒しでの使用は絶対にしない。 * 吸引物が吹きこぼれる恐れがあります。</p>	<p> ホースを踏んだり、急激に引っ張らない。 * ホース破損による汚損事故の原因になります。</p>
<p> 電源プラグにピンやゴミを付着させない。 * 感電やショートして発火することがあります。</p>	<p> 吸込口に手や指を入れない。 * ケガの原因になります。</p> <p style="text-align: right;"></p>
<p> 電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。 * 感電やショートして発火することがあります。</p>	<p> 電源コードは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。 * コードが発熱して火災の危険があります。 必ず伸ばした状態で使用してください。</p>
<p> 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重い物をのせたり、挟み込まない。 * 電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。</p>	<p> 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。 * ケガ、やけど、絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります。</p> <p> 使用後は、電源コードを束ねて保管する。 * 電源コードが劣化したり、傷つくと危険です。</p>

⚠ 注 意	
<p>! ゴミを捨てるときは、防じんメガネやマスクを着用する。 * 健康を害する恐れがあります。</p>	<p>⊘ くわえたばこをしたままゴミを捨てない。 * たばこの火がゴミに燃え移り、やけどや火災の原因になります。</p>
<p>! 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。 * 感電やショートして発火することがあります。</p>	<p>! 電源プラグのほこりなどは、定期的に乾いた布で拭取る。 * プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。</p>

保守・点検の際の注意事項

⚠ 注 意	
<p>⊘ 修理技術者以外の方は、分解したり、修理や改造を絶対にしない。 * 発火したり異常動作をすることがあります。</p>	<p>⊘ お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 * 感電やケガをする恐れがあります。</p>

2 仕様と付属品

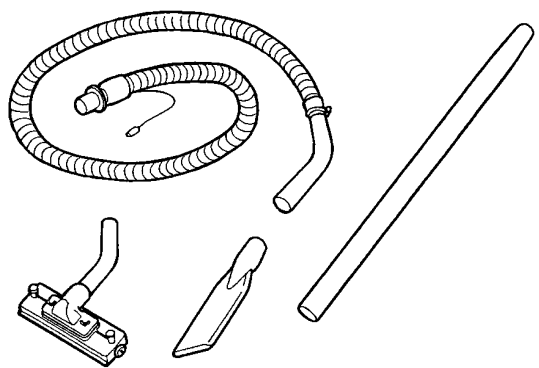
注記	許容電流15A以上の電源回路が必要です。使用される電源回路をご確認ください。 標準質量には、38ホース、38アルミ直管パイプ、38-25T型ノズルの質量を含みます。
-----------	---

仕様表

品番	SCV-110DP
電源	100V
消費電力	1150W
電流	11.5A
最大風量	2.5m ³ /min
最大真空圧	22kPa
騒音値	70dB
フィルター面積	0.48m ² (ULPAフィルター除く)
電源コード	長さ8m(アースクリップ付き)
ホース	径 38mm×長さ2m
タンク実容量	12L
本体寸法	幅 340×奥行 366×高さ 697mm
標準質量	16kg (本体のみ 14.5kg)

付属品

- 38ホース(長さ2m) 1本
- 38アルミ直管パイプ..... 1本
- 38-25T型ノズル..... 1個
- 38スキマノズル大..... 1個



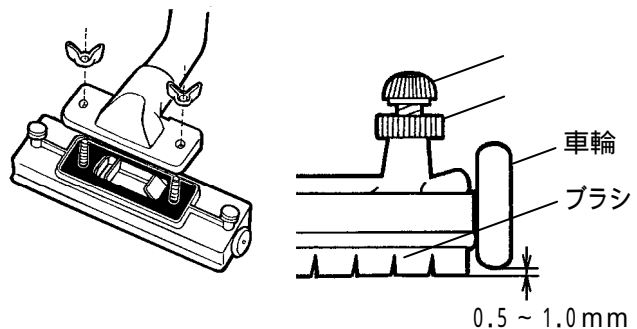
* 38-25T型ノズルの組立方法 * * * * *

右図のように組立ててください。

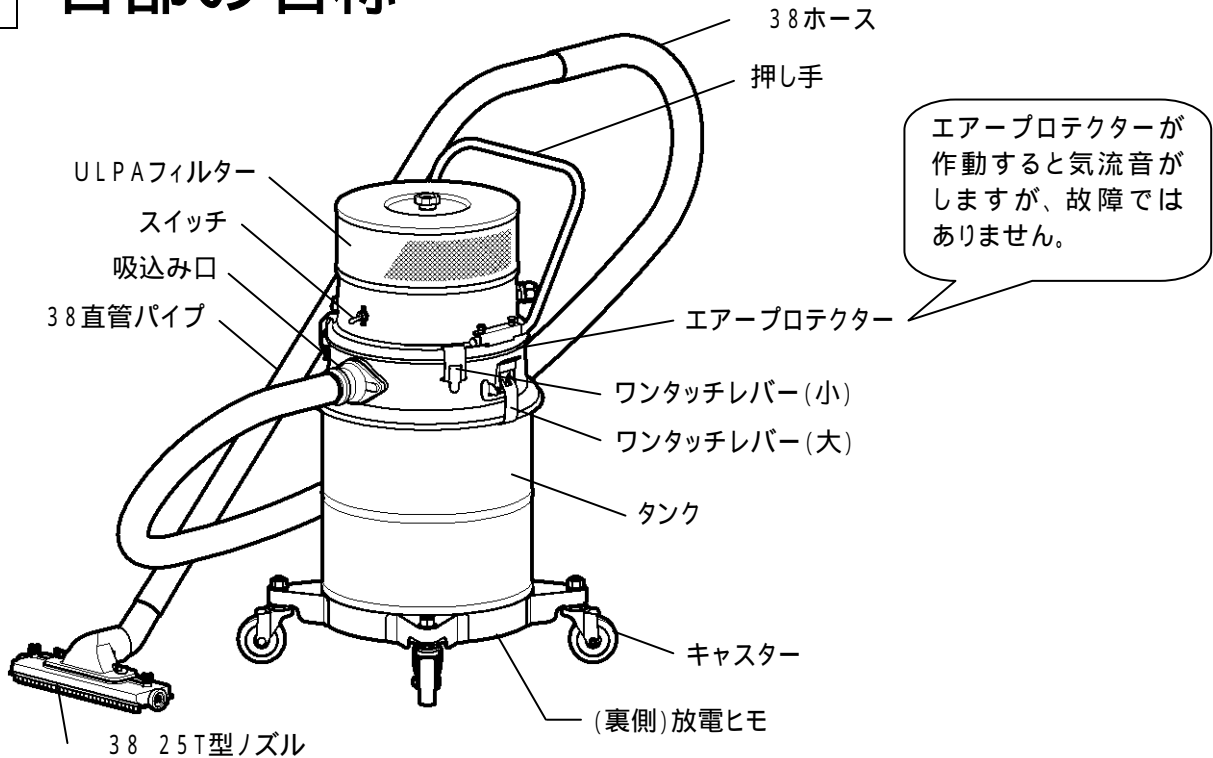
ノズルの組立てが終わったら、ノットをゆるめて、のネジで車輪がブラシより0.5～1.0mm高い位置になるように車輪の高さを調整してください。

最後にもう一度、ノットを締めなおします。

注記 床面とブラシの間隔が広すぎると吸引力の低下につながりますので、使用中でも、ときどき調整してください。



3 各部の名称



保護装置

エアープロテクター

DPフィルターが目詰まりしたり、吸込み口がふさがれた場合に、モータ保護(冷却)のためエアープロテクターが作動します。

エアープロテクターが作動したら、原因を取除いてください。

吸込み口をふさいでいるものを取除いてください。

DPフィルターを掃除してください。

DPフィルターの汚れがひどいときは、交換してください。

注記

エアープロテクターが作動したままご使用になると、モータ保護装置が働いて運転が止まる場合があります。

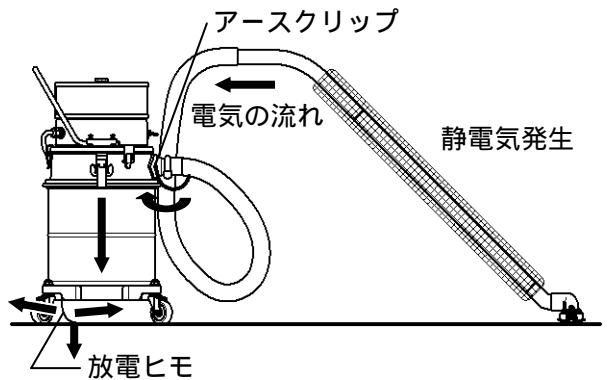
その場合は、スイッチをOFFにして、モータが冷えるまで待ってから再度運転してください。

ULPAフィルターが目詰まりしても、エアープロテクターは作動しません。

触った時にパチッと静電を感じるのは帯電が原因です。
帯電していなければ、触った時に静電を感じません。

ご参考 静電気除去の経路

静電気は、アースクリップを通してタンクに伝わり、放電ヒモを経由して放電されます。
静電気由来の事故防止のために、アースクリップは必ず接続してください。



4 ご使用方法

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

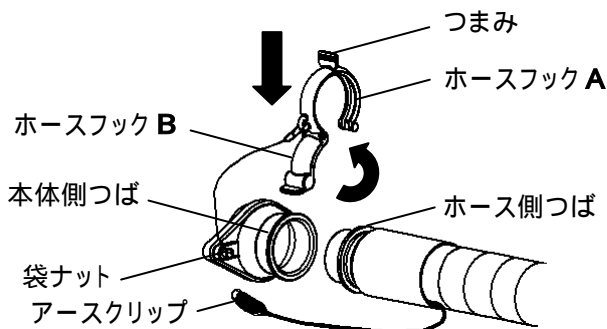
1. ホースの接続と外し方

(1) ホースの接続

ホースを本体側に差込み、ホースフック A を本体側のつばとホース側のつばの両方にかぶせます。

ホースフック B でロックしてください。

ホースから出ているアースクリップと、吸込み口脇の袋ナットでアースしてください。



(2) ホースの外し方

吸込み口脇の袋ナットに接地しているアースクリップを外してください。

ホースフック B のロックを外してください。

ホースフック A のつまみを持ち、引き上げるとホースフックが外れます。

2. ノズルの接続

吸引対象物に応じて、ノズルを選択してください。

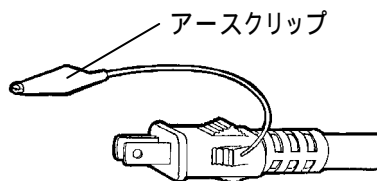
38-25T型ノズル：床面の清掃など、一般的な清掃に

38スキマノズル大：狭い場所の清掃などに

3. 電源コードの接続

電源プラグを100Vのコンセントへ差込みます。

アースクリップでアース線を接地してください。



4. スイッチ

クリーナー上部にスイッチがあります。

5. ちりおとし装置

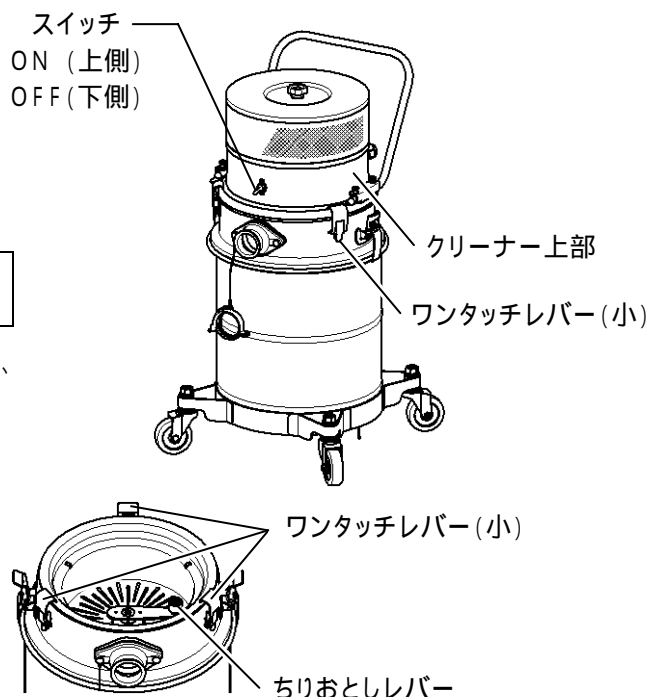
注記 クリーンルーム内でちりおとしをしないでください。

フィルターにゴミが付着すると、吸引能力が低下しますので、フィルターのちりおとしをしてください。

ちりおとしは、クリーナー上部を取外して行います。おそうじ作業前後のちりおとしが効果的です。

ワンタッチレバー(小)を3か所外し、クリーナー上部を取外します。

ちりおとしレバーを数回まわしてください。



6. ゴミを捨てる（タンクの取外し方法）

注記

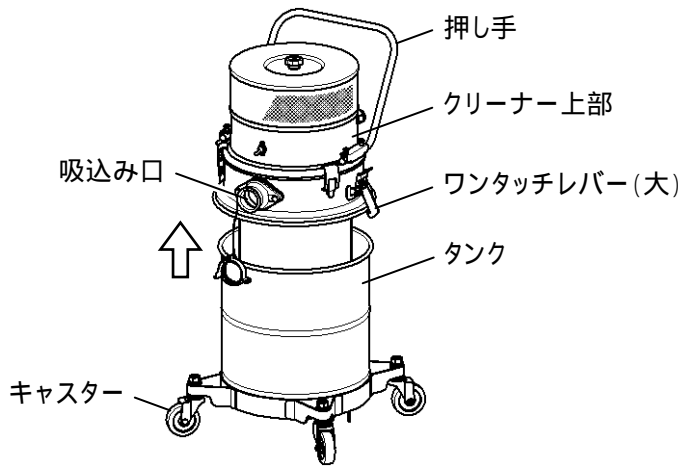
産業廃棄物は、条例等の規定に則り処理してください。
タンク内にゴミをためすぎると、クリーナー上部を取外す際、タンクからゴミが溢れることがあります。
タンク内のゴミは、適宜捨ててください。

ワンタッチレバー（大）を外します。

押し手を持ち、クリーナー上部を外してください。

タンク内のゴミを捨ててください。

再びタンクを装着するときは、吸込み口とタンクの
キャスターとの位置関係にご注意ください。
(右図参照)



5 お手入れ

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

1. フィルターのメンテナンス

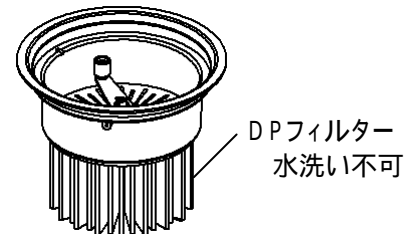
注記

フィルターは濡らさないでください。吸引能力の大幅な低下の原因になります。
ちりおとし部品は濡らさないでください。錆びたり、故障の原因になります。

DPフィルター

DPフィルターの目詰まりがひどい場合は、クリーナーから取外し、エアブローや柔らかいブラシで、DPフィルター表面に付着したゴミや汚れを取除いてください。

DPフィルターの特殊効力が失われますので、**水洗いはしないで**ください。



(1) DPフィルターの取外し方

クリーナー上部を外します。

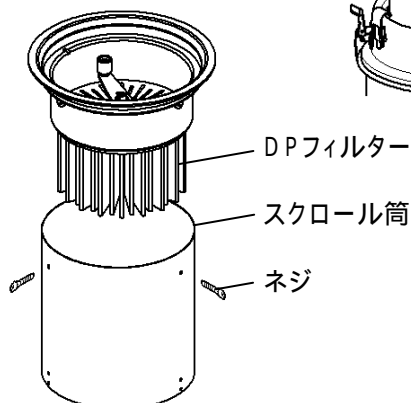
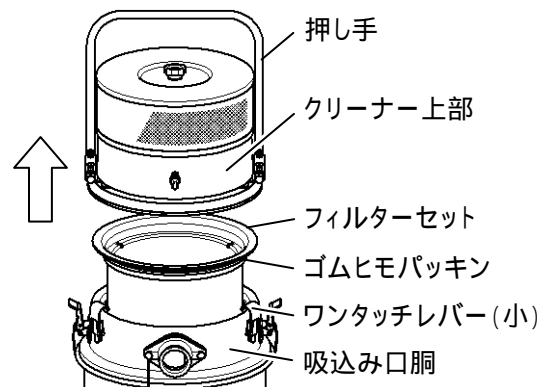
ワンタッチレバー（小）3か所を外し、押し手を持って
クリーナー上部を取外してください。

吸込み口胴からフィルターセットを取出します。

ゴムヒモパッキングがしっかり効いて
いると少し外れにくい場合にあり
ます。

からDPフィルターを取外します。

スクロール筒の3か所のネジをドライ
バーで外します。

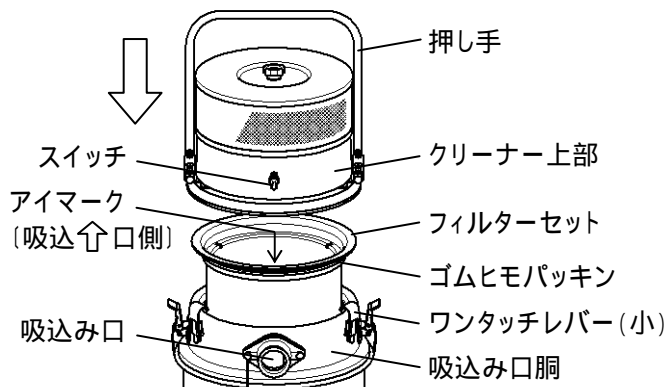
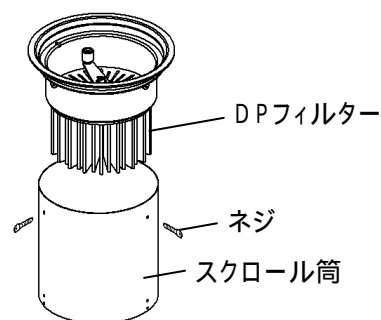


(2) DPフィルターの取付け方

スクロール筒の中にDPフィルターを入れて、ドライバーでネジ3か所を締めてください。

吸込み口側に のフィルターセットをはめ込みます。
このとき、フィルター上面のアイマーク(吸込口側)を吸込み口へ向けてはめ込んでください。
位置を合わせないと、ワンタッチレバー(小)が破損する恐れがあります。

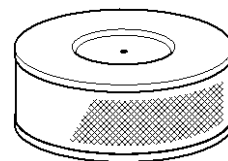
クリーナー上部をセットします。
吸込み口側にスイッチを向けてください。
ワンタッチレバー(小)3か所を閉めれば完了です。



ウルパ ULPAフィルター

クリーナーを長期間使用すると、ULPAフィルターの目詰まりにより吸引力が弱くなります。
ULPAフィルターは使い捨てです。新品と交換してください。

ULPAフィルター



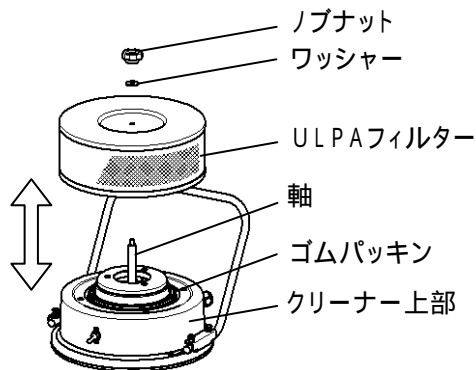
注記

ULPAフィルターが目詰まりすると、モータ保護装置が働いて運転が止まる場合があります。
その場合は、ULPAフィルターを新品に交換してください。

(1) ULPAフィルターの取外し方

クリーナー上部のノブナットとワッシャーを外します。
ノブナットとワッシャーを無くさないようご注意ください。
ゴムパッキンは外さないでください。

ULPAフィルターを外します。



(2) ULPAフィルターの取付け方

クリーナー上部にULPAフィルターを取付けます。
このとき、ULPAフィルター下面をゴムパッキンにはめ込み、上面の穴を軸に通してください。
位置を合わせないと、ULPAフィルターを取付けることができません。

ワッシャーを軸に通し、ノブナットをしっかりと締めこんでください。

2. お手入れ

ホースやクリーナー外装が汚れたら、中性洗剤のうすめ液に浸したぞうきんやウエスを固く絞って拭いてください。
なお、洗剤によっては樹脂部に使用できないものもありますので、ご使用洗剤の注意ラベルをご確認ください。
樹脂に使用できる洗剤でも、化学反応によりひび割れの原因になる場合がありますので、水拭きをして洗剤分を落としてください。

注記

石油、ベンジン、アルコール、シンナー類は、ご使用にならないでください。

6 安全のための点検のお願い

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

安全にご使用いただくために、下記項目の点検をしてください。
点検で不具合が見つかったときは、すみやかに処置を施してください。

点検項目	処置
電源コードは傷んだり、変形していませんか？	電源コードの交換が必要です。
電源プラグは変形したりグラついたりしませんか？	電源コードの交換が必要です。
アースクリップは、歪みなどがなく正常に機能していますか？	電源コードの交換が必要です。
スイッチ保護ゴムに破れはありませんか？	スイッチの交換が必要です。
ホースは変形したり破れていませんか？	ホースを交換してください。
ホース・直管パイプにゴミが詰まっていますか？	ゴミを取除いてください。
フィルターは正しくセットされていますか？	正しくセットしてください。
フィルターが破れていませんか？	フィルターを交換してください。
フィルターが目詰まりしていませんか？	DPフィルターを掃除してください。 ULPAフィルターを交換してください。
ワンタッチレバーは正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
ワンタッチレバーは曲がったり歪んでいませんか？	ワンタッチレバーの交換が必要です。
タンクは変形していませんか？	タンクの交換が必要です。
タンク内にゴミがたまっていますか？	ゴミを処理してください。
クリーナー上部は正しく装着していますか？	正しく装着してください。
キャスターが磨耗したり変形していませんか？	キャスターの交換が必要です。
各部のネジ、ナットはゆるんでいませんか？	増し締めしてください。
モータ回転音に異常はありませんか？	修理技術者、販売店に点検をご依頼ください。
変な音や、臭いがしませんか？	販売店に点検をご依頼ください。

分解修理が必要なときは、必ず修理技術者が行ってください。修理技術者以外の方は、分解したり、修理や改造を絶対にしないでください。

* 別売品のご案内 * * * * *

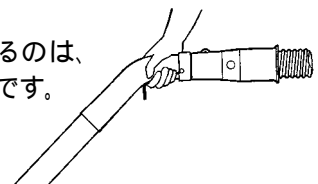
38除電バンド

パイプに帯電した静電気を、アースヒモを通じて空中放電します。

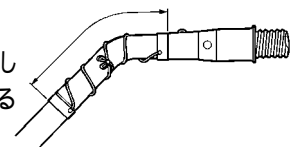
パイプとアースヒモと一緒に握って使用してください。



静電気の除電ができるのは、アースヒモが届く範囲です。



除電バンドを2本使用していただくと、除電できる範囲が広がります。



7 こんなときは（故障かな？と思ったら）

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

故障かな？と思ったら、まず下記項目をご確認ください。

症 状	調べるところ	直し方
●運転しない。	電源プラグがコンセントに確実に差込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差込み直します。
	電源ブレーカーが落ちていませんか？	電源ブレーカーが落ちた原因を取除いてください。
	電源コードが断線していませんか？	断線部を補修するか、または電源コードを交換してください。
	本体内蔵のヒューズが切れていませんか？	修理技術者に連絡して、ヒューズが切れた原因を取除いた上、専用の管ヒューズを交換してください。
	モータの寿命ではありませんか？	モータの交換が必要です。 モータの寿命は、約500時間が目安です。
●吸引しない。 ●発生音が高くなった。	ゴミがタンク一杯になっていませんか？	タンク内のゴミを処理してください。
	ホースや吸込み口にゴミが詰まっていますか？	ゴミを取除いてください。
●吸引力が急に弱くなった。	ホースや吸込み口にゴミが詰まっていますか？	ゴミを取除いてください。
	ホースやパイプが破れていませんか？	ホースやパイプを交換してください。
	クリーナー上部と吸込み口胴、タンクは完全に密閉していますか？ 隙間ができていませんか？	クリーナー上部と吸込み口胴、タンクを正しく合わせて、ワンタッチレバー（小）・（大）で確実に固定してください。
	DPフィルターが目詰まりしていませんか？	ちりおとし装置でDPフィルターのホコリを落としてください。 汚れがひどい場合は、DPフィルターを掃除してください。（6ページ参照）
	気流音がしませんか？ （空気を吸込む音）	エアプロテクターが作動しています。 吸込み口をふさいでいるものを取除いてください。 DPフィルターを掃除してください。 DPフィルターの汚れがひどいときは、交換してください。
	ULPAフィルターが目詰まりしていませんか？	ULPAフィルターを交換してください。 ULPAフィルターは使い捨てです。
	モータが異常回転していませんか？	修理技術者に連絡して、故障のモータを交換、または故障原因を取除いてください。
●DPフィルター交換後、モータは回転するが吸引しなくなった。	モータ下部のパッキンとゴムヒモパッキンが正しく装着されていますか？	正しく装着してください。

分解修理が必要なときは、必ず修理技術者が行ってください。修理技術者以外の方は、分解や修理を絶対にしないでください。

上記処置をしても直らない場合は使用を中止し、販売店に点検・修理をご依頼ください。

危険防止のための注意事項

- ❖ 本機は正常なご使用方法で運転する場合、本機自体より事故を発生することはありません。
- ❖ しかし吸引する粉じんの種類や周囲の雰囲気により、種々の火種、静電気の放電による火花などにより、ガス爆発や粉じん爆発を起こす場合があります。
- ❖ 引火性、爆発性、腐食性ガスの雰囲気内および爆発性粉じん、可燃性粉じんが浮遊、または堆積する可能性のある危険場所では絶対にご使用にならないようご注意ください。
- ❖ 参考のため、爆発性ガスおよび粉じんの一部を表記します。

(1) 主な爆発性ガスの種類

爆発等級	発火度					
	G1	G2	G3	G4	G5	G6
1	アセトン、トルエン アンモニア、プロパン 一酸化炭素、ベンゼン エタン、メタノール、酢酸 メタン、酢酸エチル	エタノール 酢酸イソアミル 1-ブタノール ブタン 無水酢酸	ガソリン ヘキサン	アセトアルデヒド エチルエーテル		亜硝酸エチル
2	石炭ガス	エチレン エチレンオキシド	イソブレン			
3	水性ガス 水素	アセチレン			二硫化炭素	硝酸エチル

(2) 主な爆発性および可燃性粉じんの種類

爆発性粉じん	可燃性粉じん	
	導電性のもの	非導電性のもの
マグネシウム、アルミニウム アルミニウムブロンズ アルミニウム(含脂)	亜鉛、チタン、コークス カーボンブラック、鉄 石炭	小麦粉、とうもろこし、砂糖 ゴム、染料、ポリエチレン フェノール樹脂、ココア リグニン、米ぬか、硫黄

静電気の発生とその防止について

- ❖ 静電気の発生は、二つの物体の接触分離など力学的運動に伴い、本来電氣的に中性状態である物体上でプラスまたはマイナスのどちらか一方の極性電荷が他方よりも過剰となる現象です。
- ❖ クリーナーや集じん機の場合、粉じんを吸込むときに、その粉じんとホースまたはダクトの内面の接触・摩擦移動により、静電気がホースやダクトまたはクリーナー・集じん機本体、フィルターに蓄積される状態を言います。
- ❖ そのため、この蓄積された電荷がダクト内や本体内のフィルターなどからアースに対し放電状態で中和される際に周囲の可燃性の粉じんなどに引火し、いわゆる粉じん爆発を起こす要因になります。
- ❖ 静電気発生を極力少なくするため、本体およびダクトはアースに接続していただくと同時に、フィルターは帯電防止用フィルターをご使用ください。これは、高電圧になる前に大地に放電して障害を少なくするためです。
- ❖ 静電気は空気が乾燥するほど、また、微粉じんを高速で吸引するほど多く発生します。
- ❖ 物質の帯電序列の例を参考のため下記に表示しました。

表中、二つの物質を摩擦または剥離したとき、上部の物質がプラスに帯電し、下部の物質がマイナスに帯電します。ホースやダクトまたはフィルターの材質と粉じんが接近したもののほど帯電は少なくなります。

(3) 帯電序列の例

金属	繊維	天然物質	合成樹脂
(+)	(+)	(+)	(+)
鉛	羊毛	アスベスト	エポナイト
亜鉛	ナイロン	人毛・毛皮	ポリスチレン
アルミニウム	レーヨン	ガラス	ポリプロピレン
クローム	絹	雲母	ポリエチレン
鉄	木綿	木材	塩化ビニル
銅	麻	人の皮膚	ポリテトラフロロエチレン
ニッケル	ガラス繊維	紙	
金	アセテート	ゴム	
白金	ビニロン	セルロイド	
	ポリエステル	セロファン	
	アクリル		
	ポリ塩化ビニリテン		
(-)	(-)	(-)	(-)

8 アフターサービスと保証について

⚠ 注意



当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。

- * 当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。
- * 当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。
- * 他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店、または最寄りの当社支店・営業所にお申し付けください。なお、スイデン製品は、家電製品に準じた保有期間を独自設定しています。標準部品としての補修用パーツの保有期間は、製造打ち切り後6年です。

保証について

この製品の保証期間は納入日より1年間とし、次の場合に限り無償修理の対象となります。

無償保証

取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。
ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。
また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し、交換が必要だと判断した部品については、有償とさせていただきます。

⚠ 安全に関するご注意

本製品を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途については、確認のうえ使用してください。品質低下などの原因になることがあります。

本体には、据え付けおよび電気工事などが必要な場合があります。お買い上げ販売店または専門業者にご相談ください。工事に不備があると、感電や火災・事故の原因になることがあります。

愛情点検



長年ご使用のクリーナーの点検を！

このような症状はありませんか？

スイッチを入れても時々運転しないことがある。
運転中に異常な音や振動がある。
本体が変形していたり、異常に熱い。
焦げ臭い“におい”がする。
その他の異常がある。

お願い
異常があれば
ご使用を
即、中止!!

このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

アフターサービスのお申し込みについて

アフターサービス・修理のお申し込みは、お買い上げの販売店、または当社支店・営業所へお申し込みください。

お買い上げ販売店のメモ欄

店名
所在地
TEL
FAX
お買い上げ年月日
年 月 日

株式会社 **スイデン**

奈良県生駒郡三郷町夕陽ヶ丘3-26

ホームページ <http://www.suiden.com>

スイデン商品についてのお問い合わせは、最寄りのスイデン支店・営業所へどうぞ！

東京支店	☎(03)3625-9003
大阪支店	☎(06)6772-2241
名古屋支店	☎(052)882-3621
福岡支店	☎(092)471-6201
仙台営業所	☎(022)288-4777
北関東営業所	☎(0277)76-1805
静岡営業所	☎(054)237-5172
富山営業所	☎(076)407-1801
広島営業所	☎(082)292-6311
高松営業所	☎(087)843-4896
お客様相談室	☎0120-285-240

製品の廃棄について 本機を廃棄するときは、分解し、分別処理して廃棄物処理場に出してください。